

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム
実施状況および成果

プログラム名	グローバルエンジニア育成のための工学部マレーシア短期研修	
学部・研究科名	工学部	
プログラム実施期間	2017年9月3日～9月24日	
研修先(国・都市・施設名)	マレーシア・クアラルンプール・マラヤ大学、マレーシアプトラ大学	
参加者数：7名		知の森からの支援者：2名
プログラム概要	工学部では夏休み期間中の2017年9月、マレーシアにある信州大学の学術協定校2校に計7名の学生を派遣し、専門的な講義や実習を体験する約3週間の短期派遣プログラムを実施した。マラヤ大学、マレーシアプトラ大学に3または4名が派遣され、大学内の学生寮で生活しながら、各自の専門に応じて授業に参加した。学生たちは英語での授業、日本とは異なる授業形態、現地学生たちのたいへん積極的な態度などから多くの刺激を受けた。またマレーシアの歴史や文化、宗教を学び、日本を発信するという文化交流、世界各国から集まる交換留学生や日本への大学進学を目指し日本語を学んでいる学生たちとの出会いなどからも視野を広げることができた。他に現地の企業見学やリサーチ活動等も行い、学生にとって自己を振り返り、将来グローバルエンジニアとして世界で活躍するための課題や目標を見つけ、今後の中長期留学や将来の進路を探るきっかけとなる研修となった。	

実施状況・成果

◆事前ガイダンス(事前研修) (6/5・6/21・7/12の計3回実施)
本プログラムの目標・目的設定、海外渡航に関する安全指導、留学手続きや授業受講に関する指導、マレーシアの文化、生活、宗教、派遣先大学での留意点などについての事前学習を行った。現在マレーシアから信州大学に留学している学生や昨年度の本プログラム参加者にも出席を依頼し、研修により役立つ情報が提供できるようにした。また、工学部English Café及びグローバル教育推進センター主催のPractical English Workshopにより英会話力の向上を図った。現地で言うリサーチ活動については渡航前に計画書を作成・検証し、授業については派遣先大学の授業タイムテーブル等を利用し、事前に受講する講義を調べ各自時間割を設定、専門英語の予習等行って、留学に備えた。

◆短期留学(9/3～9/24)
参加者はそれぞれマラヤ大学、マレーシアプトラ大学の学生寮で生活し、一般の学生と同様、各自の専門に応じた英語で行われる授業を受講した。また、留学生を対象としたオリエンテーションや交流会等にも参加し、交換留学生の留学生生活を3週間に圧縮した「海外留学シミュレーション」を行った。今回の留学体験は参加者にとって今後の中長期の留学等を検討する契機となった。また自らの学業への姿勢について振り返った者も多く、帰国後の専門分野での目標がより明確になった、授業にもっと積極的に取り組んでいきたい等としていた。
当初は生活習慣の違い等カルチャーショックもあったようだが、次第に順応し、滞在後半には積極的に授業やスポーツ、寮生活を通じて現地の学生と行動し、マレーシアでの生活、習慣、宗教等を学ぶだけでなく、日本文化を紹介する等の文化交流も行った。異文化に直接触れ、理解し適応する中でコミュニケーション能力や問題解決力、柔軟性や積極性が養われ、今後グローバルに活動していくための素養を涵養することができた。

◆帰国報告会(10/31)
派遣先大学ごとに、工学部にて報告会を行う。発表は一部英語で行う予定。

学生の声①-工学部 学生

マレーシアに留学する前、私はとてもマレーシアに留学することに不安を感じた。その理由として、マレーシアという国には行ったことがなく、暮らすのに必要な英会話能力に対しても自信がなかったからであった。さらに様々な人種と宗教が混ざり合っている国であり、数ヶ月前に北朝鮮の問題もあったので、少し治安などについても心配していた。このような心配をしながら9月3日から9月24日までマレーシアのマラヤ大学に3週間短期留学をした。そしてこのような心配は杞憂に過ぎなかったことがわかった。マレーシアで3週間暮らしたが、宗教的なトラブルや人種的なトラブルは発生しなかった。様々な人種が暮らしているおかげで私たちがしていた様々な宗教的なミスは大目に見てもらえた。しかも私の不足な英語でもマレーシアで生きていくことが可能であり、更にマレーシアの友達を作ることが可能であった。これらから、私がマレーシア短期留学で得た最も大きい成果はマレーシアに行く前に思い込んでいたマレーシアに関する心配と偏見がなくなったことである。

学生の声②-工学部 学生

私はマレーシアのマラヤ大学に9月3日～9月24日まで約3週間の留学をしました。マラヤ大学はマレーシアNo1の大学でとても優秀な大学です。そこで授業を受けたり大学の友達と交流したりしました。授業は設備のしっかり整った教室で先生たちのきめ細かな指導、また優秀な生徒たちの積極的な姿勢で行われます。マレーシアの生徒は先生に質問されなくても自ら意見を言っていてびっくりしました。日本の大学の授業とは明らかに違うと感じました。また生徒たちは近くに座った生徒に気軽に話しかけます。わたしは友達がいないくて一人でしたがすぐにフレンドリーに話しかけてくれました。そのおかげで私にもたくさん友達ができました。わたしはマレーシア人のフレンドリーでのんびりしているところが大好きです。この3週間たくさんの人と出会いたくさんの経験ができました。これらは私の人生においてとても良い思い出となりました。今回この留学を応援してくださった大学の先生や知の森基金の皆さんに感謝しています。

マラヤ大の先生や学生と



ローカルなレストランで晩御飯

